

# 愛知教育大学大学院 教育学研究科 2027

— 高度な実践力と深い専門性を学ぶ新たなステージへ —

open to anyone interested in education from around the world



AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION



国立大学法人  
愛知教育大学

# 多様な専門性を有する 質の高い専門職の養成を目指して

現在、中央教育審議会教員養成部会では、新たな教員免許制度の在り方が検討されており、2030年度を目途に変更が予定されています。今回の見直しでは、教員免許の取得要件の在り方や、各自が強みとする分野に関する専門的な学修の充実が議論されています。さらにこの中では、最終的に免許の修士レベル化（専修免許状）を目指す方向も示されています。こうした制度の転換により、従来の画一的な履修にとらわれず、それぞれの専門性や関心に応じた学び方で教員免許の取得を目指すことが可能になると考えられます。

すなわち、社会問題化している教員不足の解消に向け、教職のなり手の裾野を拡大するとともに、多様な専門性を有する教員を養成し、教育の質の向上を図ることが求められています。

本学は2020年度に、これまでの大学院教育の成果を踏まえ、学部教育との一貫性・系統性を保ちながら、新しい学校づくりの核となり得る教員及び専門職業人の養成を目指して改革を行いました。また、この数年間のニーズを踏まえ、新たな系の設置や、選択可能な実習で充実に図っており、まさに今求められている多様な専門性を身に付けることができる環境を整えています。

本学の大学院のカリキュラムには、多くの実習の機会がありますので、学部から直進で進学する学生の皆さんは、実習先で授業やカウンセリングを見たり、実践したりすることで、理想とする具体的なイメージをもち学びを深め、質の高い実践力を備えた専門職を目指してほしいと思います。

また、現職で進学される皆さんは、それぞれ課題を持って入学してこられます。日々の業務の中ではなかなか課題と向き合う時間の確保が厳しいと思いますので、心にゆとりを持ち、じっくりと自身の実践と向き合い、教育観を見つめ直してください。その後の専門職としての歩みをより豊かなものにしていく機会になると思います。

本学は、静岡大学との共同による「後期3年の課程のみの博士課程」も有しており、広く教育界に貢献する大学教員への道も開けます。

本学大学院で、皆さんと出会えることを心より楽しみにしています。



愛知教育大学長

野田 敦敬

NODA Atsunori

# 愛知教育大学大学院の教育組織

## 教育学研究科

<h3>教育実践 高度化専攻</h3> <p>教職大学院の課程</p> <p>標準修業年限2年 入学定員: 120名</p> <p>P.3</p>	対 象	コ ー ス	取得学位
	現職教員	学校マネジメントコース	教職修士(専門職)
	現職教員 ・ 学卒者 ・ 社会人等	教科指導重点コース 【言語・社会科学系】 【理数・自然科学系】 【造形・創造科学系】 【小学校教育指導系】	
		児童生徒発達支援コース 【生徒指導・教育相談系】 【幼児教育実践系】 【養護教育実践系】 【特別支援教育実践系】	
地域・教育課題解決コース 【外国人児童生徒支援系】 【ICT活用・科学ものづくり推進系】			
<h3>教育支援 高度化専攻</h3> <p>修士課程</p> <p>標準修業年限2年 入学定員: 30名</p> <p>P.9</p>	対 象	コ ー ス	取得学位
	学卒者 ・ 社会人等	臨床心理学コース	修士(教育学)
	留学生	日本型教育 グローバルコース	
	学校事務職員 ・ 自治体職員等	教育ガバナンス キャリアコース	
<h3>共同教科 開発学専攻</h3> <p>後期3年の課程のみの博士課程</p> <p>標準修業年限3年 入学定員: 4名(本学分)</p> <p>P.13</p>	対 象	分 野	取得学位
	修士課程修了者 ・ 教職大学院修了者	教育環境学分野	博士(教育学)
		人文社会系教科学分野	
		自然系教科学分野	
創造系教科学分野			

# 教育実践高度化専攻

## 教職大学院の課程



教育実践高度化専攻は、学校教育に関わる理論と実践の融合を基本とし、理論の応用並びに実践の理論化に関わる諸能力の修得によって実践的指導力を備えた教員を養成するとともに、一定の教職経験を有する現職教員に対しては、確かな指導理論と実践力・応用力を備え、指導的役割を果たし得る教員を養成することを目的としています。

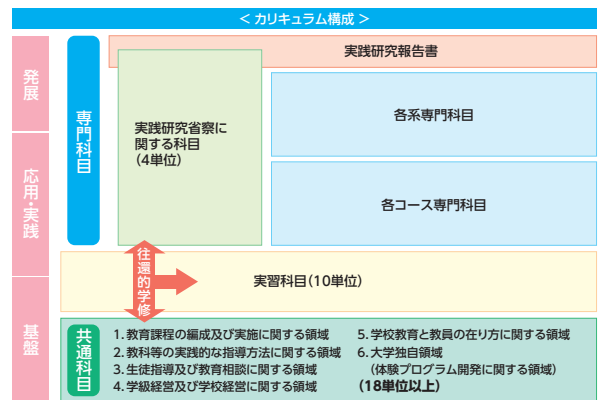
### ❖ カリキュラム

自らの教育実践を理論に基づき振り返ることができる実習を教育課程の中心に置くことにより、理論と実践の往還を持続的に発展させていくことを基本的な教育方法とし、カリキュラムを編成しています。

### ❖ 教職力向上プログラム・探究力向上プログラム

教育実践高度化専攻のすべてのコース・系では、以下のいずれかのプログラムを受講することとなります。

※ただし、探究力向上プログラムを受講できるのは、一部の系のみであり、受講を希望する者は、出願時に申請し、許可を受ける必要があります。



#### 教職力向上プログラム

大学院修了後すぐに教育現場で活躍できることを目指し、授業づくりや指導技術などの実践力を習得するためのものです。連携協力校の教育ニーズを踏まえた実践的な研究を行い、学部卒学生については、大学院修了後に「教員育成指標」の5年目と同程度の資質・能力を身に付けることを目指します。現職教員学生は、実践力にさらなる磨きをかけます。

##### ■ 教職力向上プログラムを受講できる系・コース

- ・すべてのコース・系

#### 探究力向上プログラム

学部での研究をさらに向上させ、教師としての専門性をより高度なものとしていきます。連携協力校での実践的な研究を深め、論文制作に取り組みます。大学院修了後に本学と静岡大学の共同教育課程である「共同教科開発学専攻」(後期3年の課程のみの博士課程)を目指すことも可能です。

##### ■ 探究力向上プログラムを受講できる系・コース

- ・教科指導重点コース (言語・社会科学系、理数・自然科学系、造形・創造科学系)
- ・児童生徒発達支援コース (すべての系)

### ❖ 実習科目 (研修)

本学教職大学院における実習科目は「研修」という名称を用いています。学部における教育実習と異なり、定められた到達目標に基づき、事前に学生自身が研究テーマや目的・内容・方法を明確にした計画書を作成し、研修に臨みます。また、研修の事後においては、計画書と研修の内容を踏まえた省察を行います。この研修により、大学院の理論と研修校の実践との往還を通して、実践的指導力と教育課題解決力の育成・向上を目指しています。

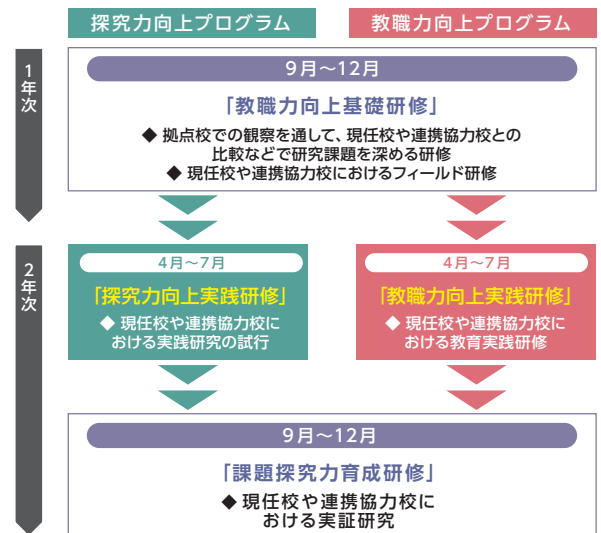
※一定の教職経験のある学生については、本人の申請に基づき、本学が定める審査基準によって実践成果を評価した上で、実習科目の単位認定により、一部履修を免除可能となります。

### ❖ 修了要件

本専攻では、理論と実践の融合を図るため、共通科目 (18単位) と実習科目 (10単位) を含み、修了するために必要な科目及び単位数計46単位について、次のとおり定めています。修了後、教職修士 (専門職) の学位が授与されます。

科目区分	単位数 (合計46単位)	内容
共通科目	18	共通科目は、教育学・心理学などの教育科学系の専門性を活かし、理論と実践の往還を支える共通5領域科目 (16単位) に加えて、大学独自に「体験プログラム開発に関する領域」 (2単位) を設定しています。
専門科目	14	各コース共通科目でデザインされた科目群を基盤として、専門科目関連 (10単位) を学修し、集大成として実践研究省察に関する科目 (4単位・実践研究報告書作成) を設定しています。
実習科目	10	理論と実践を往還し、融合を図る学校研修を配置し、計10単位修得します。
自由科目	4	教育実践高度化専攻及び教育支援高度化専攻の全てのコースから、自己の関心に応じて計4単位修得します。

#### 2年間の研修のイメージ



# 》》 学校マネジメントコース

学年・学校経営力、カリキュラムマネジメント力に長けたミドルリーダーの育成

本コースは現職教員を対象としたコースです。カリキュラムの特徴としては、法的背景を基礎に、「チーム学校」として学年・学校の中心となって活躍することができるミドルリーダー育成を目的としています。多様な理論に焦点をあてながら、学級・学年・学校経営、人的・財政的な組織マネジメントや、マスコミ対応を含めた危機管理、学校・人事評価、地域連携等の学修を行います。また、学級担任・学年主任・研究主任等、それぞれの立場におけるカリキュラムマネジメントを推進するために、学級・学年・学校マネジメント等を踏まえた組織開発、教師の職能育成のための授業研究の在り方等を中心に学修します。本コースでは、教科等の枠組みを超えて、学校教育を俯瞰的に分析し、これからの学年・学校づくりを探究する人材を求めます。



磯部 征尊 准教授  
ISOBE Masataka

## ■ 時間割の例

1年前期	月	火	水	木	金	1年後期	月	火	水	木	金
1		道徳教育の理論と実践				1			人事マネジメント		
2		カリキュラムのデザインと評価	教職員の職能開発		学校マネジメントとリーダーシップ	2	研修実施日	教師の実践省察の理論と方法		研修実施日	協働的なマネジメントのあり方
3		アクティブ・ラーニングの授業と学習評価	ゼミ			3			ゼミ		特色ある学校カリキュラムづくりの事例研究
4		児童生徒をいかに学級経営のためのワークショップ				4					研究・研修のデザイン
集中講義	地域教育課題に関する体験プログラム開発、学校のリーガルマインド、特別支援の児童生徒理解と援助(メディア科目)					集中講義	地域協働と学校間連携、Society5.0に向けたAI活用のできる人材育成(メディア科目)				

共通科目……………青  
専門科目  
コース共通専門科目…紫  
コース専門科目……………橙  
実践研究省察科目……………桃  
自由科目……………黒

※2年次は研修と実践研究報告書作成中心

## ❖ 専任教員紹介

詳しくはこちら》



職名	氏名	担当
教授	鈴木 佳樹	学校マネジメント
教授	手嶋 修一	学校マネジメント
教授	松山 清美	学校マネジメント
教授	森 弘徳	学校マネジメント
准教授	磯部 征尊	学校マネジメント

※2026年7月現在



## ❖ 研究紹介

### ● 過去の修了生の実践研究報告書題目

#### 〈教職力向上プログラム〉

ミドルリーダーによるZ世代教員の育成に関する一考察—世代間の意識調査を通して—

教員の経験年数に応じた心理的安全性を高める教育実践研究

ジョブ・クラフティングを活用した、教員が生き生き働く学年マネジメント—認知的クラフティングの促進を中心として—

地域の防災力を高める学校の役割に関する研究—学校の担う公助の視点から—

# 教科指導重点コース

言語・社会科学系(国語・社会・英語・生活) / 理数・自然科学系(数学・理科・情報) / 造形・創造科学系(音楽・美術・保健体育・技術・家庭) / 小学校教育指導系



保立 雅紀 教授  
HOTATE Masanori

## 教科の特性を活かした教材・授業開発力の育成

本コースでは、教科教育の本質である教授法・カリキュラム論及び教科内容学を反映させた教材開発論に基づき、教科指導に関する共通性を学びつつ、各教科の固有性・専門性を学びます。

言語・社会科学系、理数・自然科学系、造形・創造科学系の3つの系では、小・中学校における実践力及び探究力の育成を目指す義務教育履修モデルと、高等学校における実践力及び探究力の育成を目指す高校教育履修モデルを置き、児童・生徒の発達段階や、教科の特性に基づいた講義や研修を通して高い実践力を有する学生の育成を目指しています。また、令和6年度から開設した小学校教育指導系では、小学校における授業づくりの方法論、学級経営、幼小・小中連携や教科横断的な視点等について学びを深めていきます。

### 時間割の例【小学校教育指導系の場合】

1年前期	月	火	水	木	金	1年後期	月	火	水	木	金
1		道徳教育の理論と実践	教科横断的なカリキュラムの創造			1		教科教育の理論と実践(道徳・特別活動)			
2	総合的学習のカリキュラム編成と実践	カリキュラムのデザインと評価	カリキュラムの構想と授業づくり		学校マネジメントとリーダーシップ	2	研修実施日	教師の実践省察の理論と方法	教科教育の理論と実践(図画工作・美術)	研修実施日	協働的なマネジメントのあり方
3		アクティブ・ラーニングの授業と学習評価	ゼミ			3		教科教育の理論と実践(小学校社会)	ゼミ	研修実施日	特色ある学校カリキュラムづくりの事例研究
4		児童生徒をいかに学級経営のためのワークショップ				4					
集中講義	地域教育課題に関する体験プログラム開発、特別支援の児童生徒理解と援助(メディア科目)、生徒指導・相談活動の実践的な進め方(メディア科目)					集中講義					

- 共通科目 ..... 青
- 専門科目
- コース共通専門科目 ..... 紫
- 系共通科目 ..... 赤
- 系専門科目 ..... 橙
- 実践研究省察科目 ..... 桃
- 自由科目 ..... 黒

※2年次は研修と実践研究報告書作成中心



## 専任教員紹介

詳しくはこちら >>



職名	氏名	担当
准教授	砂川 誠司	言語・社会科学系(国語)
教授	近藤 裕幸	言語・社会科学系(社会)
教授	保立 雅紀	
准教授	真島 聖子	
講師	和井田 祐司	言語・社会科学系(英語)
教授	田口 達也	
教授	建内 高昭	
教授	阿部 路代	言語・社会科学系(生活)
准教授	西野 雄一郎	理数・自然科学系(数学)
教授	久野 哲司	
教授	山田 篤史	
准教授	青山 和裕	理数・自然科学系(理科)
教授	伊東 章二	
教授	大鹿 聖公	
教授	平野 俊英	理数・自然科学系(情報)
教授	福井 真二	
准教授	齋藤 ひとみ	
特別教授	新山王 政和	造形・創造科学系(音楽)
教授	國府 華子	造形・創造科学系(美術)
教授	中村 僚志	
准教授	杉林 英彦	
教授	上原 三十三	造形・創造科学系(保健体育)
教授	鈴木 一成	
教授	三宅 隆之	
准教授	成瀬 麻美	造形・創造科学系(家庭)
特別教授	青木 香保里	
教授	加納 誠司	
教授	松井 孝彦	小学校教育指導系
准教授	石元 恵未	
准教授	城所 美和	
准教授	森 永理奈	

※2026年7月現在

## 研究紹介

### ● 過去の修了生の実践研究報告書題目

#### 〈教職力向上プログラム〉

○ 言語・社会科学系(社会)  
これからの社会を構想する「公共」の授業開発～エネルギーに関する新技術を題材として～

○ 理数・自然科学系(理科)  
高校物理における JITT を用いた相互作用型授業の実践—主体的な学習の促進を目指して—

○ 造形・創造科学系(音楽)  
音楽科と生活の中でのつながりを意識できる授業作りの考察—自然と触れる音楽と能動的に触れる音楽—

○ 小学校教育指導系  
探究的な学びにおける「自分の言葉で語る」思考のプロセスの研究—「直接体験」と「表現活動」で学びを繋ぐ—

#### 〈探究力向上プログラム〉

○ 言語・社会科学系(国語)  
国語科教育における「想像的作者」の可能性—R.ローゼンブラットの交流理論に基づく理論的・実践的検討—

○ 造形・創造科学系(保健体育)  
体育授業における教師と子どもの学びの実態解明と変容に関する実践的研究～ライフヒストリーに基づく自己省察と協働省察より～

# 》 児童生徒発達支援コース

生徒指導・教育相談系／幼児教育実践系／  
養護教育実践系／特別支援教育実践系



青柳 まゆみ 准教授

AOYAGI Mayumi

## 発達段階に即した問題解決力の育成

このコースは、子どもの心身の発達を多面的に捉え、個に即した問題解決力を備え、学校組織内外の専門スタッフと連携・協働を進めることができる人材の育成を目的とします。

大学院の授業では、コース共通科目である「子どもの発達と援助ニーズの理解と実践」、「子どものことばの発達とその支援」、「協働のための社会資源の理解と活用」を通じて、子どもの発達過程や特別な支援を必要とする子どもについて学ぶとともに、「チーム学校」の理念のもと、子どもを取り巻く社会資源の理論と実践について学びます。そして、各系で展開される専門科目で専門内容についての学びを深めていきます。

### ■ 時間割の例【特別支援教育実践系の場合】

1年前期	月	火	水	木	金	1年後期	月	火	水	木	金
1				知的障害児童生徒の理解と支援		1			特別支援教育と発達臨床		子どものことばの発達とその支援
2	子どもの発達と援助ニーズの理解と実践	カリキュラムのデザインと評価	聴覚障害児童生徒の理解と支援	肢体不自由児童生徒の理解と支援		2	研修実施日	教師の実践省察の理論と方法	発達障害児童生徒の理解と支援	研修実施日	協働的な学校マネジメントのあり方
3		アクティブ・ラーニングの授業と学習評価	ゼミ			3			ゼミ	研修実施日	特別なニーズのある児童生徒のアクセシビリティ
4		児童生徒をいかに学級経営のためのワークショップ				4					
集中講義	地域教育課題に関する体験プログラム開発、特別支援の児童生徒理解と援助(メディア科目)、生徒指導・相談活動の実践的な進め方(メディア科目)					集中講義	Society 5.0に向けたAI活用のできる人材育成(メディア科目)				

共通科目……………青  
専門科目……………紫  
コース共通専門科目……………橙  
系専門科目……………桃  
実践研究省察科目……………黒  
自由科目……………黒

※2年次は研修と実践研究報告書作成中心

## ◆ 専任教員紹介

詳しくはこちら》



職名	氏名	担当
教授	石田 靖彦	生徒指導・教育相談系
教授	竹川 慎哉	
教授	野平 慎二	
准教授	片山 悠樹	
准教授	黒川 雅幸	幼児教育実践系
教授	林 牧子	
特別教授	浅田 知恵	養護教育実践系
教授	山田 浩平	
准教授	岡本 陽	
教授	深江 健司	特別支援教育実践系
教授	吉岡 恒生	
准教授	小倉 靖範	

※2026年7月現在



## ◆ 研究紹介

### ● 過去の修了生の実践研究報告書題目

#### 〈教職力向上プログラム〉

- 生徒指導・教育相談系  
自己実現を果たせる学級づくり ～本来感・自尊感情・被受容感を高める学級活動の実践研究～
- 幼児教育実践系  
音への意識を促す環境構成と関わりについて —3歳児の音への興味・関心の変化に着目して—
- 養護教育実践系  
自己効力感を高める別室登校支援 —振り返り日記を用いて—
- 特別支援教育実践系  
中学校通常学級の英語の授業場面での集団随伴性に基づく指導—生徒の援助報告と英単語テスト成績への効果—

# 》 地域・教育課題解決コース 外国人児童生徒支援系 / ICT活用・科学ものづくり推進系



松永 豊 教授  
MATSUNAGA Yutaka

## 地域との連携協働による教育諸課題への対応力の育成

このコースは、現代の教育課題を学校内外の関係者・関係諸機関との連携の中で解決していける人材の育成を目的とします。

外国人児童生徒支援系では、教員として外国人児童生徒や保護者の支援ができるだけでなく、多角的な視点から「多文化共生社会／学校」づくりを中心となって進めていける人材の育成を目指します。そのため、広く社会問題に関心を持ち、柔軟な発想ができる、自ら課題解決に動こうとする人を求めます。

ICT活用・科学ものづくり推進系においては、STEAM教育をはじめとして、社会の変化に柔軟に対応でき、新たな価値を創造できる人材の育成が目的です。教育現場でのICT利用を含む、様々な形でのICTの活用法を学び、実践力を身に付けます。また、科学ものづくりの面白さを理解したうえで、教材作りや授業構築に役に立つ力を学修します。

### ■ 時間割の例【外国人児童生徒支援系の場合】

1年前期	月	火	水	木	金	1年後期	月	火	水	木	金
1		道徳教育の理論と実践				1					次世代の教育課題と地域創生
2		カリキュラムのデザインと評価	多文化共生社会と日本語教育の課題		学校マネジメントとリーダーシップ	2	研修実施日	教師の実践省察の理論と方法	保護者・地域の支援ネットワークとの連携	研修実施日	協働的な学校マネジメントのあり方
3		アクティブ・ラーニングの授業と学習評価	ゼミ			3			ゼミ		特色ある学校カリキュラムづくりの事例研究
4		児童生徒をいかに学級経営のためのワークショップ				4					
集中講義	地域教育課題に関する体験プログラム開発、教科学習における日本語教育の実践、特別支援の児童生徒理解と援助(メディア科目)					集中講義	外国人児童生徒への日本語教育の教材開発、Society 5.0に向けたAI活用のできる人材育成(メディア科目)				

共通科目……………青  
専門科目……………紫  
コース共通専門科目……………橙  
系専門科目……………桃  
実践研究省察科目……………桃  
自由科目……………黒

※2年次は研修と実践研究報告書作成中心

## ◆ 専任教員紹介

詳しくはこちら >>



職名	氏名	担当
准教授	川口 直巳	外国人児童生徒支援系
特別教授	児玉 康一	ICT活用・科学ものづくり推進系
教授	梅田 恭子	
教授	松永 豊	

※2026年7月現在



## ◆ 研究紹介

### ● 過去の修了生の実践研究報告書題目

#### 〈教職力向上プログラム〉

#### ○ 外国人児童生徒支援系

外国人生徒在籍学級における英語授業実践—日本人生徒と外国人生徒の関係構築を目指して—

外国にルーツをもつ子どもたちへのキャリア教育—自分のルーツを肯定的に捉えるアイデンティティ形成へとつなげるための教師の支援—

#### ○ ICT活用・科学ものづくり推進系

小学校社会科『米づくり』単元におけるスマート農業の疑似体験を取り入れた授業の実践 ～Scratch を活用して～

教科内容の理解を深めるためのプログラミング教育授業実践



## 学生インタビュー

その他のインタビューはこちらから [>>](#)

### ■ 教職大学院へ進学した理由について教えてください。

大学4年生の時に、来年から教壇に立っている自分が想像できず、もう少し自信をつけてから現場に出たいと思った時、正規教員になった大学院修了者への奨学金の返済免除をニュースで知り、教職大学院に興味を持ちました。また、他県にある大学に通っていたため、教育実習は他県の小学校で行いましたが、私は愛知県内の教員を志望しているため、県内の小学校で研修ができることに魅力を感じました。

### ■ 教職大学院で学んでよかった・大変だと感じることは何ですか。

よかったことは、教育に対して熱い思いを持ち、学ぶ意欲の高い院生がたくさんいるところです。自分も頑張ろうという気持ちになります。私はよく院生室で授業準備や課題を行っており、とても捗っています。大変だと感じることは、時間があっという間に過ぎていく程やらなければならないことが多いところです。人によるかもしれませんが、毎回の講義の課題や、研修校での授業の準備、研究などに日々追われていきます。院生室で夜遅くまで残っていることもあります。

### ■ 修了後はどのような先生になりたいですか。

目の前の子ども一人ひとりを理解し、寄り添いながら、子どもの可能性を切り拓いていけるような教師になりたいです。そのために、まずは私自身が自信を持って、子どもたちに指導・支援できるように、大学院で学んでいきたいと思っています。



教育実践高度化専攻  
教科指導重点コース  
小学校教育指導系2年生

東 沙穂さん

## 取得可能免許状

対応する一種免許状を基に、大学院の単位修得によって対応する専修免許状を取得することができます。

- 幼稚園教諭専修免許状
- 小学校教諭専修免許状
- 中学校教諭専修免許状  
国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教
- 高等学校教諭専修免許状  
国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、福祉、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教
- 特別支援学校教諭専修免許状  
視覚、聴覚、知的、肢体、病弱
- 養護教諭専修免許状

## 1年修了プログラム

次の要件を満たす方で入試時に事前審査へ申請し、許可された場合、受講することができます。受講学生は、実習科目全10単位が免除され、1年で大学院の修了を目指すプログラムです。

### 本プログラムへの申請資格

- 以下のすべてを満たす現職教員で教育実践高度化専攻全コースの志願者
- ・常勤職員としての教職経験が、20年以上あること。
  - ・在学中、休業予定であること。

詳しくはこちら [>>](#)



## 小・中学校教員免許状取得プログラム

本プログラムでは、教職大学院に3年間に在学し、教職大学院の授業履修に加えて、学部の免許状取得に必要な科目を履修することで、他校種の教育職員免許状を取得できます。授業料については所定の修業年限(3年)相当の授業料を納入します。

### 本プログラムの学生数

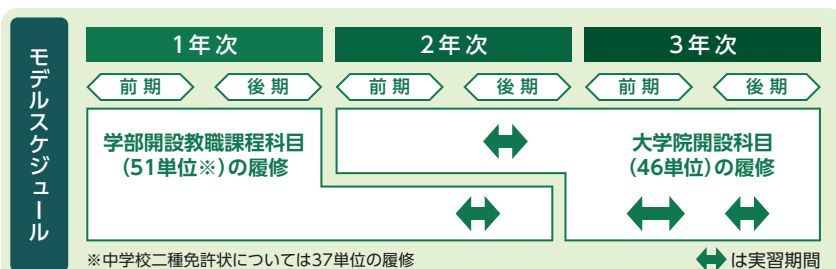
小学校：30名以内  
中学校：若干名

### 本プログラムの中学校開講教科

英語、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、国語(二種免許状のみ)、社会(二種免許状のみ)、数学(二種免許状のみ)、理科(二種免許状のみ)

### 本プログラムへの申請資格

小学校：教職大学院に出願した者のうち、小学校教諭一種免許状を取得していない者(取得見込みの者は不可)  
中学校：英語、音楽、美術、保健体育、技術、家庭:教職大学院に出願した者のうち、希望する教科の中学校教諭一種免許状を取得していない者(取得見込みの者は不可)  
国語、社会、数学、理科:教職大学院に出願した者のうち、希望する教科の中学校教諭一種免許状又は二種免許状を取得していない者(取得見込みの者は不可)



教職修士(専門職)  
+  
小学校教諭専修免許状、  
中学校教諭免許状(各教科)※

※英語・音楽・美術・保健体育・技術・家庭については専修免許状、国語・社会・数学・理科については二種免許状となります。

# 教育支援高度化専攻

## 修士課程

教育支援高度化専攻は、教育現場と地域に即した高度な専門的知識、教育方法、研究能力を身に付け、学校をプラットフォームとした「チーム学校」体制の実現を目標とする次世代の日本型教育システムを研究開発し、それを諸外国も含め実践・展開できる人材を育成することを目的としています。

2020年度から、心理専門職を養成する「臨床心理学コース」と留学生を対象とした「日本型教育グローバルコース」の2コースを設置しています。また、2021年度からは、次世代型教育・学校づくりをリードする教育行政職を養成する「教育ガバナンスキャリアコース」を設置し、計3コースを設置しています。

スクールカウンセラー、公認心理師、臨床心理士等を目指す方



臨床心理学コース P.10

日本の教育を学び、帰国後に指導者となることを目指す外国籍の方



日本型教育グローバルコース P.11

教育行政リーダーを目指す学校事務職員や教育行政職員の方



教育ガバナンスキャリアコース P.12

## ❖ 修了要件

本専攻では、共通科目、コース専門科目、「特別研究科目」としてのゼミ科目について、下表のとおり修得し、修士論文の審査に合格することで、修士(教育学)の学位が授与されます。

詳しくは、右の二次元コードからご確認ください。



科目区分	単位数(合計30単位)			内容
	臨床心理学コース	日本型教育グローバルコース	教育ガバナンスキャリアコース	
共通科目	必修4	必修4	必修4	地域的課題と国際的な視野からの教育力の養成及び各コースの基盤となる共通科目です。
	選択2	選択2	選択2	
専門科目	選択16	選択14	選択16	各コースの専門性及び研究能力を高めるためのコース科目です。
ゼミ科目	必修4	必修4	必修4	修士論文の作成等に関する研究指導を中心とした特別研究科目です。
自由科目	選択4	選択6	選択4	専門職学位課程での開設科目も履修できる「相互履修」を保障し、「チーム学校」を意識した能力の高度化を図ることを目的としています。

## ❖ 共通科目担当 専任教員紹介

詳しくはこちら >>>



職名	氏名	所属講座
准教授	佐野 真紀	福祉講座

※2026年7月現在

在学生、修了生の声をウェブサイトに掲載しています。



# 臨床心理学コース

「チーム学校」として地域社会で協働できる高度な心理専門職の育成

社会の多様化や経済成長の停滞に伴って、保健医療、福祉、教育などの多領域における心理支援の必要性が高まっています。コロナ禍以降、不登校の増加は著しく、今やスクールカウンセラーなどの心理専門職は、地域社会において不可欠な存在です。また、いじめや不登校、神経発達症のある子どもやその保護者支援などの心理・教育的課題だけでなく、児童虐待や貧困、災害時の心のケアなどにおいて、心理学を基盤とした支援や心理アセスメントにおける高度な実践力が求められます。本学では、心理職としての専門知識及び実践技能の獲得とともに、クライアントに真摯に向き合い、他者と協働できる「現場志向の専門職養成」を目指します。



安藤 久美子 准教授  
ANDO Kumiko

## 取得できる受験資格

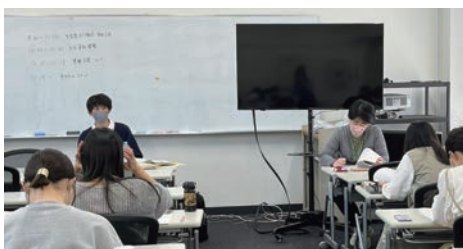
**臨床心理士**  
臨床心理学の知識や技術を用いて人間のこころの問題にアプローチするところの専門家です。公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による第1種指定大学院の指定を受けており、修了すると実務経験免除で受験資格を得ることができます。

**公認心理師**  
保健医療・福祉・教育等の広範な領域において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって観察・分析、助言・指導、教育・情報提供する心理職の国家資格です。所定の単位を取得することで受験資格を得ることができます。(ただし、学部において所定の心理学関連科目の単位を修得していることが条件となります。)

## 時間割の例 ※2年次は実習・修士論文作成中心

1年前期	月	火	水	木	金	土
1		心理実践実習(教育領域)	臨床心理実習Ⅰ	発達臨床学特論(一部)		
2	障害児臨床特論			臨床心理学特論Ⅰ	臨床心理面接特論Ⅱ	
3	心理・教育統計法特論		臨床心理実習Ⅰ	臨床心理面接演習Ⅰ		
4	精神医学特論			心理健康教育特論	学校臨床心理学特論	
5						
6						
集中講義	発達臨床学特論(一部)、教育・子どもの支援高度化のための理論と実践、人間関係学特論、臨床心理学研究方法、投影法特論、臨床心理査定演習Ⅱ(一部)					

1年後期	月	火	水	木	金	土
1	犯罪心理学特論	心理実践実習(福祉領域)	臨床心理実習Ⅱ			心理実践実習(学内相談施設)
2	臨床心理査定演習Ⅰ			臨床心理面接特論Ⅰ		
3	臨床心理学特論Ⅱ		臨床心理実習Ⅱ	臨床心理面接演習Ⅱ		
4				臨床心理査定演習Ⅱ(一部)		
5						
6						
集中講義	家族心理学特論、地域協働と学校間連携、特別研究Ⅰ					



## 専任教員紹介

職名	氏名
特別教授	鈴木 伸子
特別教授	原 幸一
教授	高橋 靖子
准教授	安藤 久美子
准教授	鈴木 美樹江
准教授	高柳 伸哉
准教授	星 あづさ
准教授	増山 晃大
講師	石川 千絵

※2026年7月現在

詳しくはこちら



## 修了生インタビュー

教育支援高度化専攻 臨床心理学コース 2023年度入学 伊藤 舞音さん

### 臨床心理学コースへ進学した理由について教えてください。

大学生の時から子どもに対して興味関心がありました。私は元々違う大学に通っており、そこで子どもの勉強・研究を行っている中で子どもの中でも虐待を受けて育った子ども、被虐待児への支援の仕方について学びを深めたいと思いました。愛知教育大学大学院では、子どもの発達を学び、虐待に関係する犯罪・非行・愛着などの様々な観点から学ぶことが出来ると感じたために進学を決めました。

### 大学院生活の中で、印象に残っていることを教えてください。

私は事例検討と院ゼミが印象に残っています。事例検討の講義では、学内の相談室で受理されたケースや実習先でのケースについて院生同士が様々な質問や見立てをたてながら検討していくために新たな視点が多く得られました。この講義で見立てをたてる練習をしていたことで今の仕事でもまだ足りない部分もありますが、様々な視点からケースを考えることが出来るようにも思えます。

院ゼミでは、自身の研究もですが、気になっている分野について教えていただけることも多くとても力になりました。気になる分野が多く、研究テーマが定まりきらない時にも1つ1つ丁寧に教えて頂けたことがとても有難く、新たな視点を多く授けて貰えました。

### 入学を考えている方へのメッセージをお願いします。

大学院生の2年間は心理職の土台をつくる時期であると思っています。社会に出て、心理職として働いている今、まだ芽が出たレベルなんだろうなと実感する日々です。しかし、土壌がしっかりしていなければ芽も出ないと思います。愛知教育大学大学院での2年間は能動的に動くことができ、たくさんの学びと相談がとてもしやすい先生方に囲まれ、土壌がしっかり出来上がる場であると思っています。

今振り返っても、この大学院で学ぶことができて良かったと心から思える2年間でした。どの仕事に就いたとしても大学院で得た全ての経験は現場で活けると感じています。これから愛知教育大学大学院で学び、心理職を目指す方々にとってより良い2年間になることを祈っています。

# 》 日本型教育グローバルコース Japanese-style Education Course



マイヤー オリバー 教授  
MAYER Oliver

## 日本型教育システムを自国教育に拡充する教育者・研究者の育成

本コースは留学生専用のコースです。本コースの目的は、留学生が日本の教育を学び、帰国した後、それを母国に広めてもらうことです。本コースの学生は、小学校・中学校・高等学校の教科の教育方法や教材研究について学ぶことができます。授業研究と呼ばれる、日本型の教科開発の方法を学ぶこともできます。本コースの授業科目のほか、教職大学院の授業科目も履修することができます。本コースへの入学を希望する方は、事前に教務企画課に相談してください。

The course aims to provide the international students with a comprehensive understanding of Japanese-style education, which will be useful skills required to be successful scholars and teachers after returning to their home countries. Students can learn the teaching methods and teaching materials of subjects taught in elementary, junior high and senior high schools. They can also learn "Jugyo Kenkyu", known as the Japanese-style Lesson Study for developing teaching subjects. Outside of our course, students can take the classes of the Graduate School of Professional Teacher Education. If you are interested to apply to our course, please contact the Academic Affairs and Planning Division before submitting the application document.

### ■ 時間割の例 ※2年次は修士論文作成中心

1年前期	月	火	水	木	金	1年後期	月	火	水	木	金
1		日本における教科の内容と指導法 I				1					
2	探究型カリキュラム・教材の開発とグローバル化		日本型教材の開発と授業デザイン I			2	日本型教育システムにおけるICT活用の方法				
3		教育制度・カリキュラムの国際比較		教育における統計分析の方法		3	日本型教材の開発と授業デザイン II			学校におけるICT活用の方法	
4				日本型教育の理解のための日本語 I		4	日本型教育の理解のための日本語 II			人間発達の国際比較	
集中講義	教育・子どもの支援高度化のための理論と実践 日本型教育実践研究 II					集中講義	地域協働と学校間連携 日本型教育実践研究 I 特別研究 I				



## ◆ 専任教員紹介

詳しくはこちら »



職名	氏名	所属講座
教授	MAYER Oliver	教育ガバナンス講座
教授	北野 浩章	日本語教育講座
准教授	加藤 恵梨	日本語教育講座
教授	浅井 暢宏	数学教育講座
教授	小谷 健司	数学教育講座
教授	加藤 淳太郎	理科教育講座
教授	中野 博文	理科教育講座
教授	宮川 貴彦	理科教育講座
教授	鎌田 敏之	技術教育講座
教授	北村 一浩	技術教育講座

※2026年7月現在

## ◆ 過去の修士論文

- 日本の教育大学学生の性教育経験及び指導力に関する考察 —包括的性教育を軸にして
- 留守児童の母親の生活実態と家庭・仕事役割 —ライフコースを視点とした四川省での調査から—
- Problem-Solving Mechanisms Employed by Japanese Students in an EFL Classroom
- 高等学校物理で扱う内容の日中比較及び有用な実験課題の研究
- Reserach about the impact of Shintoism and Buddhism on school culture in Japan

## 修了生インタビュー

### ◇日本型教育グローバルコースへ進学した理由について教えてください。

私はベトナムのハノイ国立教育大学を卒業しました。同大学は愛知教育大学の協定校であり、両大学間の交換留学プログラムを通じて愛知教育大学を知りました。3年生の時、初めて日本を訪れる機会があり、この大学に親しみを感じました。愛知教育大学国際交流センターのスタッフや出会った先生方のおかげで、再びここで学びたいという夢を持つようになりました。そのご縁で、愛知教育大学で大学院の勉強をする機会を得ることができました。

### ◇研究テーマについて教えてください。

私にとって日本文化は、子供の頃から漫画を通じて特別なものでした。日本文化が大好きで、研究テーマは日本の宗教文化です。具体的には、日本の神道と仏教、そしてそれらが学校教育に与えた影響について研究しています。例えば、江戸時代に農民に教育を提供した寺子屋や、現代の神道系学校などです。

### ◇日本型教育グローバルコースでの経験が進路決定にどのように活かされたのかを教えてください。

このコースは私の青春時代で最高のものです。教育上のキャリアに役立つ知識を得ることができました。それに、世界中から来た友達と交流できる環境もあります。まだ迷っているなら、信じてください、コースを受講することが最善の決断になるでしょう。



教育支援高度化専攻  
日本型教育グローバルコース  
2023年度入学

VO TRONG THIさん

# 》 教育ガバナンスキャリアコース

「次世代型教育・学校」づくりをリードする専門職人材を育成

本コースは、自治体職員や学校事務職員等、社会で活躍するミドル人材を受け入れ、教育・学校での現代課題の解決を図る実践的応用力を有する教育行政専門職の育成を目的としています。

教育・学校現場におけるニーズの的確な把握、地域や学校の実情と政策の動向を踏まえた総合教育計画の策定、GIGAスクール構想を受けた教育の情報化ビジョンや教育環境整備計画の策定、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の設置・活性化など、自治体の教育政策や学校経営の基本方針を戦略的に企画・立案でき、教育・学校づくりに関わる業務を専門的見地から支援・調整できる資質・能力を養います。

次世代の教育・学校づくりに高い志を持ち、教育行政リーダーを目指す皆さんをお待ちしています。



本多 正人 教授  
HONDA Masato

## ■ 専攻科目の構成



## ■ 時間割の例

1年 前期	月	火	水	木	金
6 (18:20~19:50)	教育政策の分析と戦略立案	教育行政の組織と法制度		教育における統計分析の方法	
集中講義	教育・子どもの支援高度化のための理論と実践 教育メディアエーションの理論と実践(隔年開講) 多文化共生社会論 教育ガバナンスリーダーシップ演習 教育ガバナンスフィールド調査Ⅰ				
1年 後期	月	火	水	木	金
6 (18:20~19:50)	教育事務職員の職能開発と研修プログラム開発	教育と公共政策		教育の情報化概論	
集中講義	地域協働と学校間連携 学校のガバナンスとマネジメント 地域教育計画と地域学校協働 教育政策・学校経営インターンシップ 特別研究Ⅰ				

### 2年次 前期開講科目

- ・学習環境デザイン論
- ・公教育財政論
- ・教育と子どもの権利論
- ・教育を取り巻く経済事情(隔年開講)
- ・教育ガバナンスフィールド調査Ⅱ
- ・特別研究Ⅱ

※2年次後期は修士論文作成中心



## ❖ 専任教員紹介

職名	氏名
教授	江島 徹郎
教授	風岡 治
教授	中筋 由紀子
教授	野崎 浩成
教授	本多 正人
准教授	川北 稔

※2026年7月現在

詳しくはこちら



## ❖ 過去の修士論文

- ・子どもたちへの教育効果を最大にするための事務職員に必要な資質とその育成について
- ・地域資源活用のための学校と地域の連携・協働のあり方に関する考察
- ・不登校支援政策における中間支援組織の機能に関する考察
- ・日本の教育分野におけるPublic Service Motivationの拡張
- ・学校における公文書管理事務の再評価と学校の事務負担軽減につながる管理方法に関する考察
- ・学校における情報教育を活用した戦略的学習力の育成の試み

## 修了生インタビュー

### ◇教育ガバナンスキャリアコースへ進学した理由について教えてください。

学校事務職員について学びたかったからです。教員から事務職員へと転身したのですが、教員と事務職員の制度や各種支援等の違い、特に研修制度の乏しさを痛感しました。コロナ禍だったことありますが、そもそも事務職員に対する研修制度が整っておらず、こんなに学ばなくても仕事ができるのか?と思った反面、独学で学ぶしかないのか...と思いました。事務職員に関する書籍や雑誌から学び始めましたが、どれを読んでも、法改正により、事務職員の職務が「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に変更になった、と書かれていました。いったいどういうことなのか、つかさどるとは、学校運営に参画するとはどういうことなのか、学校の職員なのだから参画するのが当たり前ののでは、といった様々な思いがありました。これは行くしかない、とすぐに夏の説明会に参加し、長期履修制度を活用して、仕事をしながら学べることを教えていただき、その年に試験を受け、令和4年度に入学させていただき運びとなりました。

### ◇入学を考えている方へのメッセージをお願いします。

リモートで開講してくださる授業もあるため、福井からでも学ぶことができました。全国から学ぶ方が集まると、様々なことについて知ることができ、一緒に学ぶ仲間と共に成長していくことができます。独学では限界がありますが、大学では、先生方や仲間から最新の情報を手に入れることができ、「事務をつかさどる」事務職員、今求められている事務職員としての姿に近づいたためのヒントをたくさんもらえます。「子どもを育てるために事務職員ができること」を学び、考え、実践し、振り返ることができます。ぜひ、子どもたちのために、学び続ける事務職員でありましょう。



教育支援高度化専攻  
教育ガバナンスキャリアコース  
2022年度入学  
飛田 賢司さん

## 共同教科開発学専攻

後期3年の課程のみの博士課程

【教育環境学分野・人文社会系教科学分野・自然系教科学分野・創造系教科学分野】

体系的な教員養成カリキュラムの編成  
及び専門科目の体系化を可能とする大学教員養成

共同教科開発学専攻は、共同教育課程制度を活用し、愛知教育大学と静岡大学の教育学研究科に設置された、後期3年の課程のみの博士課程です。

教育を取り巻く社会状況や学校教育が抱える課題が複雑化し、学校教育現場の教員に高い資質能力が求められています。これらに対応するための体系的な教員養成カリキュラムの編成及び専門科目の体系化、また、それを可能とする大学教員養成が喫緊の課題となっています。このような課題に応えるため、両大学ともに、理論と実践を融合した高度な研究と教育を行い、その知見によって広く学校・社会で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

## ❖ 本共同大学院の主な特徴

- 愛知教育大学と静岡大学の連名による学位「博士(教育学)」が授与されます。
- 学籍を置いた大学以外の構成大学の教員からも研究指導を受けることができます。
- 愛知教育大学、静岡大学両大学で開講する講義を受講することができます。
- 土・日曜日を利用して単位取得・学位取得が可能です。
- 在職中の方でも、休職せずに学ぶことができます。
- 長期履修制度があり、仕事と両立しやすくなっています。



共同大学院に関する詳細な情報については、右の二次元コードからご確認ください。

## ❖ 「教科開発学」とは

専攻名称ともなっている「教科開発学」は、教科専門・教科教育・教職専門の枠を越えて、子どもたちを取り巻く環境を視野に入れ、教科との関わりの中で学校教育が抱える複雑・多様化した諸問題に対応した研究を遂行していくため、教科専門と教科教育を融合・発展させた「教科学」と、教職専門を発展させた「教育環境学」とをあわせて体系化することを目指す新たな学問領域です。

## ❖ 修了要件

本専攻では、下表のとおり20単位以上を修得し、博士論文の審査に合格することで博士(教育学)の学位が授与されます。

科目区分	単位数 (合計20単位)	内 容
基礎科目	必修2	教科開発学の原理的諸課題や教科開発学の研究方法論を習得したり、大学教員としての教育実践力、教員FD等、実践的諸課題を探究したりするための専攻基礎科目です。
	選択2	
分野科目	必修4	教育環境学と教科学の先進的かつ多様な知見を習得するとともに、その知見を教科開発、教育方法、教材開発などに活用することを追究するための専攻分野科目です。
	選択8	
応用科目	必修4	教員から提示された研究課題や自己の研究課題について、成果発表を通じた学生自身の課題追究、各学生の研究進捗状況をフォローアップするための専攻応用科目です。

## ❖ 過去の博士論文

- Advancing Chemistry Education in Cambodia: Video-Based Experimentation with Agar Gel  
カンボジアにおける化学教育の進歩:寒天ゲルを使ったビデオベースの実験
- 「二人称的アプローチ」による体ほぐしの運動遊びの教材開発と効果に関する研究
- 子どもの走能力向上のためのスキップドリルの開発
- 子ども理解を基軸とした保育者と保護者のパートナーシップ構築に関する研究
- 中等教育段階における国語科古典教育価値論——教材『源氏物語』を例として——
- 戦後新教育期の愛知県内実験学校におけるコア・カリキュラムの特色

❖ 研究指導  
教員紹介

詳しくは  
こちらから検索 >>



職 名	氏 名	担当分野
教授	石川 恭	教育環境学
教授	竹川 慎哉	教育環境学
教授	野崎 浩成	教育環境学
教授	野平 慎二	教育環境学
教授	石田 靖彦	教育環境学
教授	梅田 恭子	教育環境学
教授	伊藤 貴啓	人文社会系教科学
理事	岩山 勉	自然系教科学
教授	大鹿 聖公	自然系教科学
教授	小谷 健司	自然系教科学
教授	寺本 圭輔	創造系教科学
教授	山田 浩平	創造系教科学

※2026年7月現在



共同教科開発学専攻  
創造系教科学分野  
2023年度入学

中野 弘幸 さん

## 修了生インタビュー

◇博士課程に進学した理由を教えてください。

「速く走る方法」は児童生徒だけでなく、たくさんの保護者や同僚の先生も知りたがっています。私は、誰でも速く走れるようになる、誰でも指導ができる、そんな魔法のような方法はないものかと試行錯誤をしていました。中学校から小学校に異動したある日、子どもが日常生活の何気ない場面ですきップをしている姿に着目し、これを教材化できないかと考えました。特に、学校現場で無理なく実施できる指導方法を明らかにしたいと考え、教育現場への理解と研究環境の双方が整った本大学院への進学を決意しました。

◇博士課程で得られたことは何ですか。

物事を客観的に捉える視点と、それらを論理的に整理したり説明したりする力を身に付けることができました。これらの力を伸ばすことができたのは、博士論文に関する研究だけでなく、多様な専門分野の先生方からの講義を受講できる本大学院の特色によるところが大きいと感じました。

# 入試情報

詳しくは右の二次元コードから2027年度(令和9年度)の学生募集要項をご確認ください。出願条件によっては履修相談が必要となりますので、教務企画課までご相談ください。



## 教育実践高度化専攻 教職大学院の課程

## 教育支援高度化専攻 修士課程

### 出願資格 (詳しくは「募集要項」をご確認ください。)

- (1) 教育実践高度化専攻・教育支援高度化専攻に共通する出願資格  
大学を卒業した者、2027年3月卒業見込みの者、又はそれに準ずる者
- (2) 教育実践高度化専攻における出願資格  
2027年3月末日現在で必要な教職経験等は下記のとおりです。

コース	現職教員 <sup>※1</sup>	現職教員以外
学校マネジメントコース	常勤職員で約5年以上の教職経験	出願不可
教科指導重点コース	教職経験年数の制限はありませんが、一種免許状を保有していること(2027年3月までに取得見込みの者を含む)。常勤職員としての教職経験が約5年以上と5年未満の方で選抜方法が異なります。	一種免許状保有 <sup>※2</sup> 又は2027年3月までに取得見込みの者
児童生徒発達支援コース		
地域・教育課題解決コース		

※1 本学教職大学院入学時から修了時まで、常勤職員として在籍する見込みであること  
 ※2 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭のいずれか

### 入試の日程

9月試験	出願期間 7/31(金)～8/6(木)
	試験日 9/12(土)・9/13(日)
10月試験	出願期間 10/2(金)～10/8(木)
	試験日 10/24(土)・10/25(日)

※1 出願受付は郵送のみ。  
出願期間最終日の17時までに入試課必着。  
 ※2 欠員補充のために、追加募集することがあります。

### 選抜方法及び配点

教育実践高度化専攻	事前提出書類		口述試験	筆記試験(小論文)
	活動報告書	研究計画		
現職教員5年以上	400点	100点	300点	200点
教育委員会等派遣教員	—	500点	500点	—
学部卒業見込者・学卒者・社会人現職教員5年未満	200点	200点	400点	200点
推薦	400点	200点	400点	—

教育支援高度化専攻		事前提出書類		口述試験	筆記試験(専門に関する試験)
		活動報告書	研究計画		
臨床心理学コース		100点	100点	400点	400点
教育支援高度化専攻	事前提出書類	活動報告書	研究計画	口述試験	筆記試験(言語能力・文章理解)
日本型教育グローバルコース	一般	—	400点	300点	300点
	協定校	400点	200点	400点	—

教育支援高度化専攻		事前提出書類		口述試験	筆記試験(小論文)
		活動報告書	研究計画		
教育ガバナンスキャリアコース	教育委員会等派遣自治体職員	—	600点	400点	—
	現職自治体・学校事務職員、他教職員(自治体・学校推薦)	400点	200点	400点	—
	学部卒業見込者、学卒者、社会人、現職自治体・学校事務職員、他教職員(推薦以外)	200点	200点	400点	200点

## 共同教科開発学専攻 後期3年の課程のみの博士課程

出願受付は郵送のみ。出願期間最終日の17時までに愛知教育大学入試課必着。

### 出願資格

修士の学位又は専門職学位を有する者、2027年3月取得見込みの者、又はそれに準ずる者(詳しくは「募集要項」をご確認ください。)

### 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類と小論文試験、外国語(英語)筆記試験、口述試験の結果を総合して行います。(詳しくは「募集要項」をご確認ください。)

### 入試の日程

出願期間：9/17(木)～9/25(金)  
 試験日：11/7(土)  
 実施場所：愛知教育大学(愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1)

# 入学科・授業料

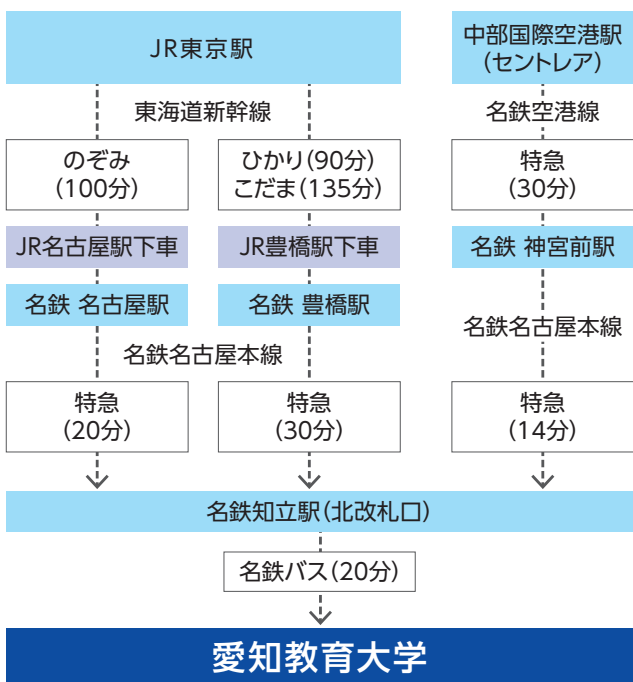
- 入学科：282,000円
- 授業料：(半期分)267,900円 (年額)535,800円

経済的支援や奨学金制度については、本学ウェブサイトをご覧ください。

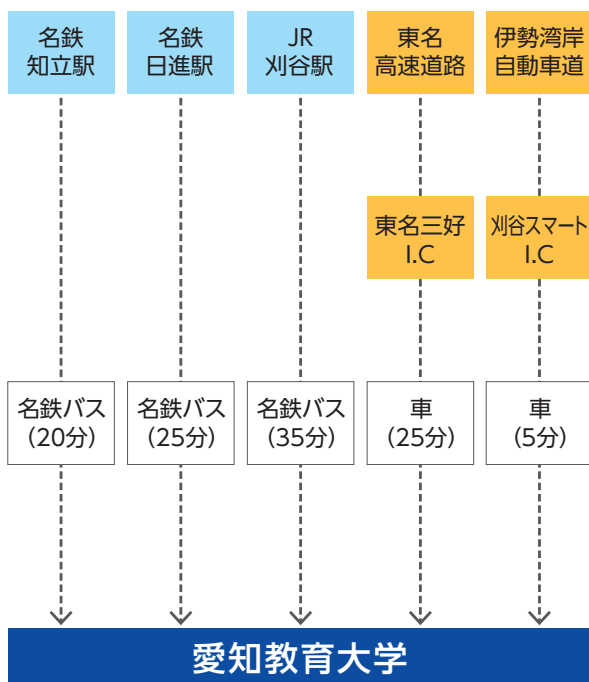
\*日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けた学生で、特に優れた業績があると認められた場合、返還免除となる制度があります。特に教職大学院においては、教員採用試験に合格し、修了の翌年度から正規教員になると奨学金の全額が返還免除となります。

# ACCESS

## 東京駅・セントレアからお越しの場合



## 近隣からお越しの場合



- 名鉄名古屋本線「知立駅」北改札口からバスで約20分「愛知教育大前」下車
  - 名鉄豊田線「日進駅」からバスで約25分「愛知教育大前」下車
  - JR東海道本線「刈谷駅」北口からバスで約35分「愛知教育大前」下車
- ※鉄道・バスの発着時刻等については、各交通機関のホームページ等でご確認ください。



愛知教育大学のウェブサイトは  
こちら →

<https://www.aichi-edu.ac.jp/>

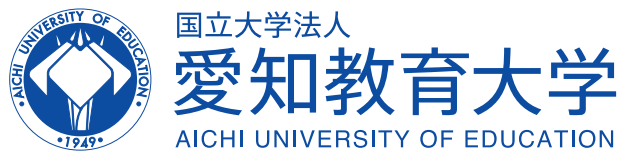


### 入試について

入 試 課 TEL 0566-26-2203

### 修学相談について

教 務 企 画 課  
 教 職 大 学 院 TEL 0566-26-2679  
 修士課程・博士課程 TEL 0566-26-2697  
 共通メールアドレス support\_ml@m.auecc.aichi-edu.ac.jp



愛知教育大学大学院  
 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学大学院教育学研究科2027  
 2026(令和8)年7月発行  
 編集：教務企画課